

2025年 2月 3日



株式会社ソラコム

ソラコムとShizen Connectが、資本業務提携を締結

VPPプラットフォームとIoT技術の融合で、
持続可能なエネルギー社会の実現を目指す

株式会社ソラコム（本社：東京都港区、代表取締役社長 玉川憲）は、株式会社Shizen Connect（本社：東京都中央区、代表取締役CEO 松村宗和）と、次世代エネルギーインフラであるVPP（Virtual Power Plant：仮想発電所）分野におけるIoT活用を推進するため、ソラコムからの出資を伴う資本業務提携の契約を締結したことを発表します。



SHIZEN
CONNECT



SORACOM

<株式会社Shizen Connectのニュース>

[Shizen Connect、プレシリーズA 3rdクローズでソラコム及びダイキンの2社と資本業務提携](#)

近年、カーボンニュートラルの実現に向けた社会的な取り組みが加速する中、VPPの重要性が高まっています。VPPは、蓄電池や太陽光発電などの分散型エネルギー資源を統合し、仮想的な発電所として機能させる仕組みです。これにより、電力の効率的な利用、安定供給、さらには再生可能エネルギーの普及促進が可能になります。

「Shizen Connect」は、さまざまなメーカーのエネルギー機器をクラウドで接続し、個別の機器制御やVPP全体の管理を一元的におこなうプラットフォームです。電力小売事業者との連携を通じ、電力供給の効率化を図るとともに、蓄電池などのエネルギー機器の制御によって企業や家庭のエネルギーコスト削減をサポートします。



<IoTデバイス「Shizen Box」>

このプラットフォームの重要なIoTデバイスである「Shizen Box」は、エネルギー機器をインターネットに接続し、遠隔制御を可能にする役割を担っています。最新版「Shizen Box 2」にSORACOMが採用されており、通信やクラウド連携、リモートアクセスのサービスを活用することで、効率的な開発・運用、セキュリティの強化、メンテナンス効率向上およびコスト削減を実現しています。

今回の提携を通じ、両社はVPPビジネスおよびIoT分野の専門性を活かし、VPPの発展に不可欠なIoT技術を強化します。また、ソラコムは、Shizen Connectのエコシステムを通じて、グリーンテックや次世代型エネルギー・ユーティリティ管理の先進的なユースケースを深く理解し、その知見を基にSORACOMのさらなる進化を目指します。

両社は、IoTとエネルギー管理の融合を推進し、業界の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

各社のコメント

「ソラコムは、VPPプラットフォームの根幹技術であるIoTの先駆企業であり、当社のIoTデバイス『Shizen Box2』でもその知見を活用し短期間で最良のデバイスを開発できました。スピードが何より重要なスタートアップにとって、ソラコムは欠かせないパートナーです。本提携を通じて、グローバルに通用するVPPプラットフォームのIoT技術を強化してまいります」

株式会社Shizen Connect
代表取締役CEO 松村 宗和氏

「Shizen Connectは、先進的なVPP技術を使いややすく提供することで持続可能なエネルギー社会の実現をけん引されており、『IoTの民主化』を掲げるソラコムと共に志を感じています。本提携を通じ、次世代エネルギー・ユーティリティ業界向けのIoT技術を強化し、持続可能な社会の実現に向けてともに取り組んでまいります」

株式会社ソラコム
代表取締役社長 玉川 憲

株式会社Shizen Connect

代表者 代表取締役CEO 松村宗和

本社 東京都中央区日本橋本町2丁目4番7号

事業内容 VPPプラットフォーム事業、エネルギー管理サービス事業、IoT機器販売事業

など

ウェブサイト <https://se-digital.net>

株式会社ソラコム

代表者 代表取締役社長 玉川 憲

本社 東京都港区元赤坂1丁目5-12 住友不動産元赤坂ビル 9階

事業内容 IoTプラットフォームSORACOMの開発・提供

ウェブサイト <https://soracom.com/>

なお、本件が当社業績に与える影響は軽微であると判断しておりますが、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田渕

pr@soracom.jp